

令和4年2月17日
総合政策局
海外プロジェクト推進課

質の高いインフラに関するインドネシアとの関係を強化
～第8回日・インドネシア建設次官級会合の開催結果（報告）～

国土交通省とインドネシア共和国公共事業・国民住宅省は、2月10日に、第8回日・インドネシア建設次官級会合をオンラインで開催しました。両国における「質の高いインフラ」、「スマートシティ」、「自然災害等のリスクに対する強靱性」の3つのテーマを中心に、両国の取組みの現状、課題及び今後の計画等を共有するとともに、今後の両国の協力関係を強化していくことを確認しました。

- (1) 日程 : 令和4年2月10日(木) 15時00分～18時00分
- (2) 会場 : オンライン
- (3) 出席者(約100名):
[日本側] 国土交通省 吉岡技監, 横田海外プロジェクト審議官 他
[インドネシア側] 公共事業・国民住宅省 モハマド事務次官 他
- (4) 結果概要: 別紙のとおり



国土交通省吉岡技監による開会挨拶



公共事業・国民住宅省モハマド・ファタ次官による開会挨拶

(問い合わせ先)

国土交通省 代表電話番号 03-5253-8111

総合政策局 海外プロジェクト推進課 直通: 03-5253-8315, FAX: 03-5253-1562

海外プロジェクト推進官 竹居 雅彦 (内線: 25807)

プロジェクト推進第一係長 鈴木 優 (内線: 25816)

(別紙)

【全体会合】

両省を代表して吉岡技監、モハマド・ファタ次官から開会挨拶があり、その後、「質の高いインフラ」、「スマートシティ」、「自然災害等のリスクに対する強靱性」の3つの議題について、インドネシア側・日本側双方から経験や事例などを紹介し、意見交換を行いました。

○議題1：質の高いインフラ

- 国土交通省総合政策局から、我が国が主導する「質の高いインフラ」にむけて、「質の高いインフラ生産システム」を紹介し、関連する最近の取組みや施策を紹介しました。
- 特に、国交省における品質保証のための施策として、「法制度」、「総合評価落札方式」、「過去の成績を反映した登録システム」、「ダンピング排除」が紹介されました。
- インドネシア公共事業・国民住宅省から、総合評価落札方式の仕組みや過去の成績を反映した登録システムにおける企業実績の反映方法、質の高い設計成果をどう担保するかなど、国交省におけるインフラの品質確保のための取組について、多数の質問が寄せられ、活発な議論がなされました。



日本側発表

○議題2：スマートシティ

- 国土交通省総合政策局から、日本のスマートシティのコンセプトや優良事例を紹介した後、日本政府の支援策である「Smart JAMP」の取組状況について紹介しました。
- インドネシア公共事業・国民住宅省地方インフラ開発庁から、首都移転計画について、計画の概要と新首都におけるスマートシティの開発コンセプトが紹介されました。
- 質疑応答では、スマートシティが目指すべき方向性や首都移転計画の今後の進め方について、実務者間での意見交換がなされました。



日本側発表



インドネシア側発表

○議題3：自然災害等のリスクに対する強靱性（第7回防災協働対話）

- 国土交通省水管理・国土保全局から、日インドネシアにおける第7回目の防災協働対話として、都市部の洪水対策について、地下放水路や遊水地など日本に存在する具体の事例を交えながら発表を行いました。
- インドネシア公共事業・国民住宅省水資源総局から、インドネシア公共事業・国民住宅省が取り組む火山の噴火対策の現状及び課題や砂防ダムを整備計画が紹介されるとともに、これまでの日本の協力への感謝と今後の協力への期待が示されました。
- 質疑応答では、砂防ダムにおける堆砂対策の現状や河川本流への影響に関する質問が寄せられるなど、技術的な議論がなされました。



日本側発表



インドネシア側発表



横田海外プロジェクト審議官による閉会挨拶



モハマド・ファタ次官による閉会挨拶